

# 宮古・釜石地区漁業復興プロジェクト③

岩手県宮古市

事業実施者：宮古漁業協同組合

使用船舶名：第53稲荷丸(85トン)・第58稲荷丸(85トン)

支援期間：平成29年9月1日～令和2年8月31日

(沖合底びき網漁業:2そうびき)

## (取組の内容)

- 省エネ：新型船建造により推進効率の向上を図り燃油使用量を約21.8%削減。
- 省人・省力化：魚艙内でローラーコンベアを使用し乗組員数を2名削減(22名→20名)。
- 衛生管理：「生産段階管理品質ガイドライン」に準拠し、殺菌海水製造装置、冷海水装置の取り付け、高圧洗浄機導入等による漁獲物の品質・衛生管理高度化の推進。
- 資源保護：体長10cm以下のキチジ個体の混獲削減を図るため選択網を導入。
- 高付加価値化：マダラ・スルメイカと助宗タラの箱詰による価格向上とマダラの沖×生産によるブランド化の確立。



## (事業の成果)

- 新型船建造により**燃油使用量は、12.75%削減**することができた。
- ローラーコンベアの使用により漁獲物の選別、積込み及び水揚時の作業を従前の9名から1名減の8名で行うことが可能となり、2隻で**人員2名の省人化**を図った。
- 殺菌海水製造装置、冷海水装置で製造した殺菌冷海水を用い、**魚艙内の洗浄、作業道具の洗浄及び漁獲物の品質・衛生管理の徹底**を図った。
- 選択網の導入により**体長10cm以下のキチジの脱出量は3年計1.7tと推定とされ、資源保護に貢献した。**
- マダラの発泡スチロール箱入製品を製造し、**漁獲物の付加価値向上に寄与した。**